

2年 生活科 「みんなでいこうよ つかおうよ」

知的好奇心に特に意識した授業について

子どもたちは、自動車、バスや電車などの乗り物に乗ることが好きである。そして、電車やバスは子どもたちにとって身近な公共交通機関である。学区探検という活動を体験した後、「もっとたくさん探検したい。」「もっと遠くまで探検したい。」という児童の願いと、バスや電車に乗った経験がすくないという実態と、学区が電車やバスという交通網が整備されている環境であるということを利用して、単元を設定した。全体的に見ても児童は意欲的に活動することができた。

この単元は、自分で考え、判断し、体験する活動を数多く設定できる素材である。そして、電車の切符を自分の力で買って電車に乗ったり、駅や公共の施設を探検したりすることは、子どもたちにとって、大変楽しく意欲的に取り組める活動だった。

これらの活動を通して、「また行ってみたい・利用したい」という自信と意欲を持った子どもたちの姿が見られた。今後、さらに町や地域の良さを発見して愛着を持つ子どもたちの姿が期待でき、自分たちの生活をよりよくしていくための積極的な生活態度を育てていくことになるのではないかと考える。

反省点

本単元にあたり、27人のクラスを6つのグループに分けたが、児童の安全を考え、保護者のボランティアをお願いした。本学級の保護者は大変協力的であったので、授業を進めるにあたり、大いに助かった。しかし、結果として協力を頼る形でないと成立しない単元計画になってしまった。

